

歴史を貫く 神の約束

聖書 ～神と人との契約の書～

アウトライン

- I. 人の罪とメシアの約束
- II. 神の民・イスラエル
- III. メシアの生涯
- IV. 教会時代
- V. たった一つの救いの道





Ⅰ. 人の罪とメシアの約束

聖書とは、神の**聖**なる約束の**書**

旧約聖書

(古い契約)

新約聖書

(新しい契約)

聖書は、神と人類との「**契約の書**」



なぜ、約束が重要なのか？

天地を造られた神・ヤハウェは、
全知全能の唯一の神。
完全な義(正しさ)と愛の神。

神にできないことが一つだけある。
それは、**約束を破ること。**



義なる神は、ご自身の約束を絶対に守られる!!

はじめに神が天と地を創造された。創世記1章1節



最初の約束

神は最後に、男と女を造り、人間に世界の管理を委ね、一つの約束を結ばれた。

創世記2:16～17

「あなたは園のどの木からでも思いのまま食べてよい。

しかし、善悪の知識の木からは、食べてはならない。その木から食べる時、あなたは必ず死ぬ。」



なぜ神は約束を結ばれるのか？

もし約束がなかったら？

無制限に完全さを求められる → 実行不可能

約束は、神ご自身を制約。人類のハードルを下げる。

一定期間、善悪を知る木の実を食べなければ、合格!!

世界は永遠に人の手に委ねられたはずだった。

破られた約束

しかし、人は、墮天使サタンに
そそのかされ、善悪を知る木の
実を食べてしまった。

その瞬間、人は神の栄光から
断絶された。それが、死。

靈的に死んだ人間は、肉体的
にも死を免れなくなった。

労働と出産にも苦しみが…。



一方的な救いの約束

【原福音】 **サタン**への宣告 創世記3:15

「**お前**と女、**お前**の子孫と**女の子孫**の
間に わたしは敵意を置く。

彼は **お前**の頭を砕き

お前は **彼**のかかとを砕く。」

- 「**女の子孫**」として生まれる**メシア**が、
命と引き換えに、**サタン**を打ち破り、
人類を罪と滅びから解放される

メシアの約束が聖書全体を貫いていく



人類の極まる罪の末に

アダムとエバは、最初に生まれたカインにメシアの希望を託した。

しかし、カインは神に背き、ついには、弟アベルを嫉妬心から殺してしまった。

カインの子孫は、さらに罪を重ねた。欲望のままに人々を苦しめ、虐殺する者、悪魔や悪霊と交わる者まで出てきた。

神は、大洪水で世界を滅ぼすと決めた。神に従った、ノアと家族8人だけが、救われた。



虹の契約

神は、大洪水で世界を滅ぼすこと
はないと、一方的に約束された。

「人の心が思い図ることは、幼い
ときから悪であるからだ。わたしは、
再び、わたしがしたように、生き
物すべてを打ち滅ぼすことは決し
てしない。創世記8:21」

神は、約束のしるしとして、
空に虹をかけられた。



神と人、人類間の深まる断絶

再び増え広がった人は、
またしても罪を重ね、神に背き、
自らの力を誇り、破滅にひた走っ
ていった。

神は人の言葉をバラバラにした。

人は世界中に散らされ、自分たち
の神を造り、崇めていった。





II. 神の民・イスラエル

エルサレム神殿再現図

アブラハムとの約束

神は、**アブラハム**という一人の人を選ばれた。

神を信頼して未知の世界に旅立った、**アブラハム**に、神は約束された。

アブラハムの子孫に土地を与え、繁栄させ、一つの民族を誕生させる。
その民族の子孫に、やがて**メシア**が誕生する。

創世記12章3節

**「地上の氏族はすべて
あなたによって祝福に入る。」**



イスラエル民族の誕生

アブラハムの子孫は、
一時、エジプトに逃れ、
奴隷として過ごした400年の間に、
イスラエルという民族に成長した。

イスラエルは、
神に導かれてエジプトから脱出し、
約束の地へ向かった。



律法と幕屋

神は、シナイ山で、イスラエルと契約を結んだ。それが、**律法**。

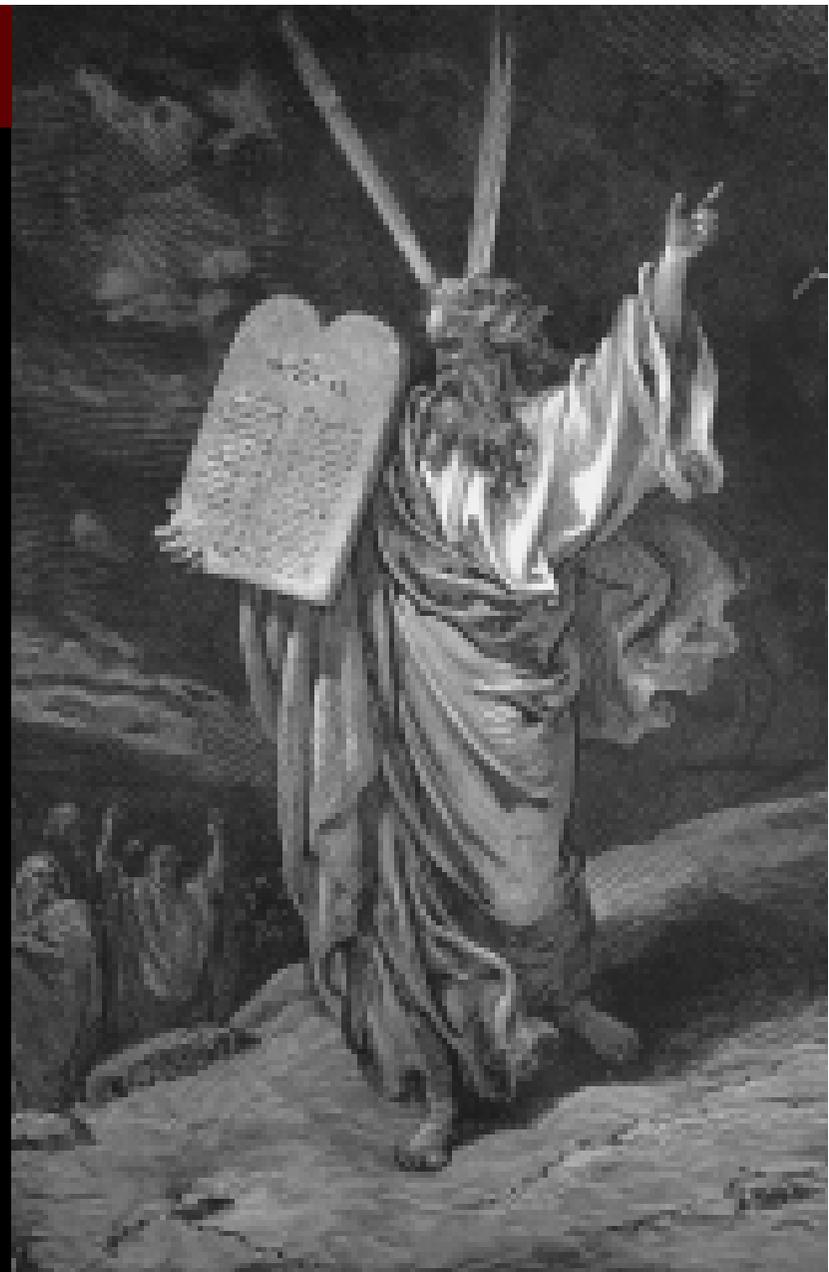
律法の中心が、十戒。

イスラエルは、唯一の神に従い、神の民として互いに愛し合い、

律法に生きると誓った。

民は、神の律法で命じられたとおり、**幕屋**(テントの神殿)を建てた。

幕屋に神の栄光が臨在し、民を導いた。



イスラエルの罪

イスラエルは、すぐに罪に陥った。
神への背きのため、40年荒野を放浪した。

ようやく約束の土地に入ったものの、
物欲や性欲を都合よく具現化した、
偶像礼拝に飲み込まれてしまった。

混沌と混乱の時代が長く続いた。

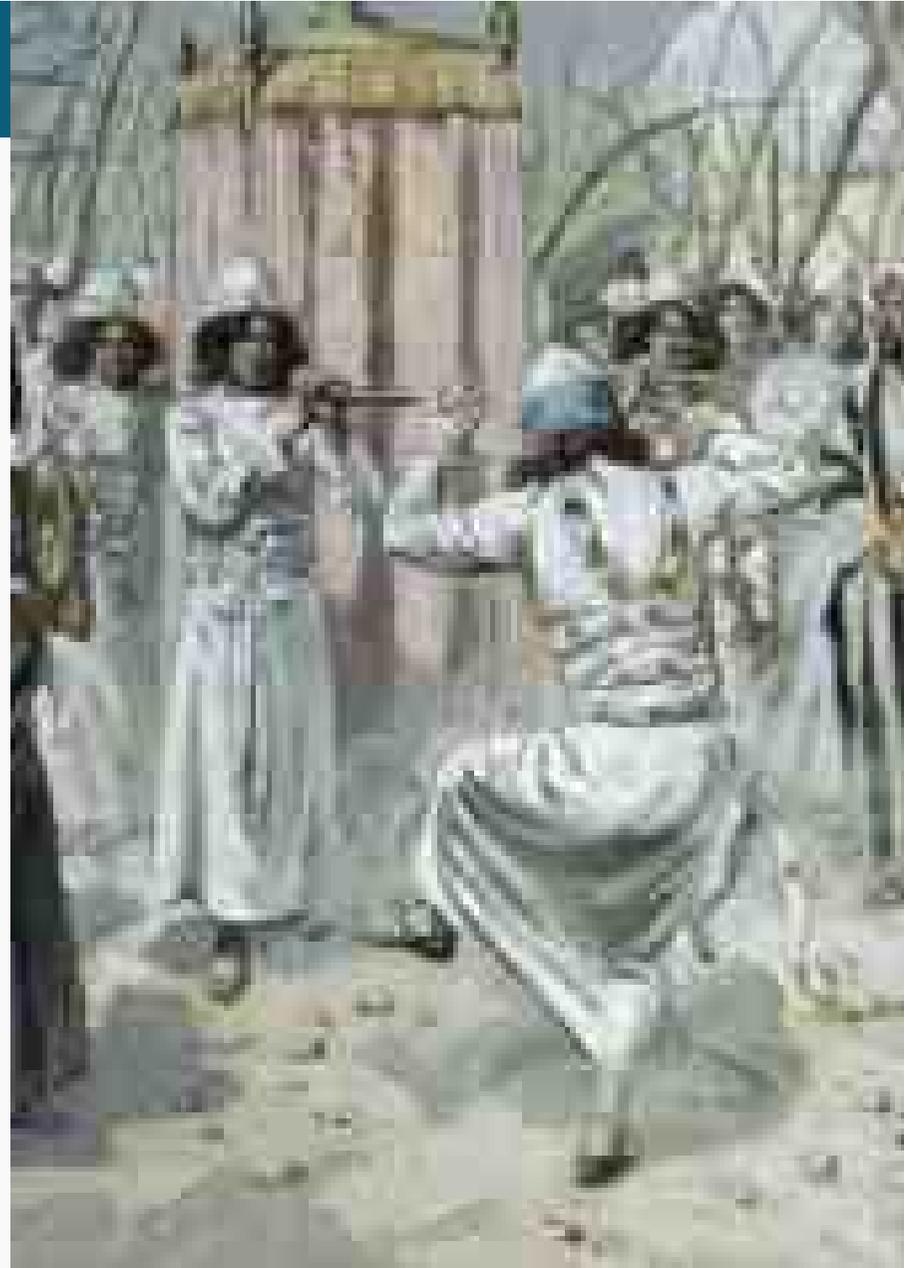


王国の建設 ダビデとの約束

羊飼いの子、ダビデが、神への信仰を認められ、苦難の末に王とされた。

ダビデは、**エルサレム**に都を築き、全イスラエルの王となった。

神は、ダビデの王家の血統を守り、ダビデの子孫から**メシア**が誕生すると約束された。



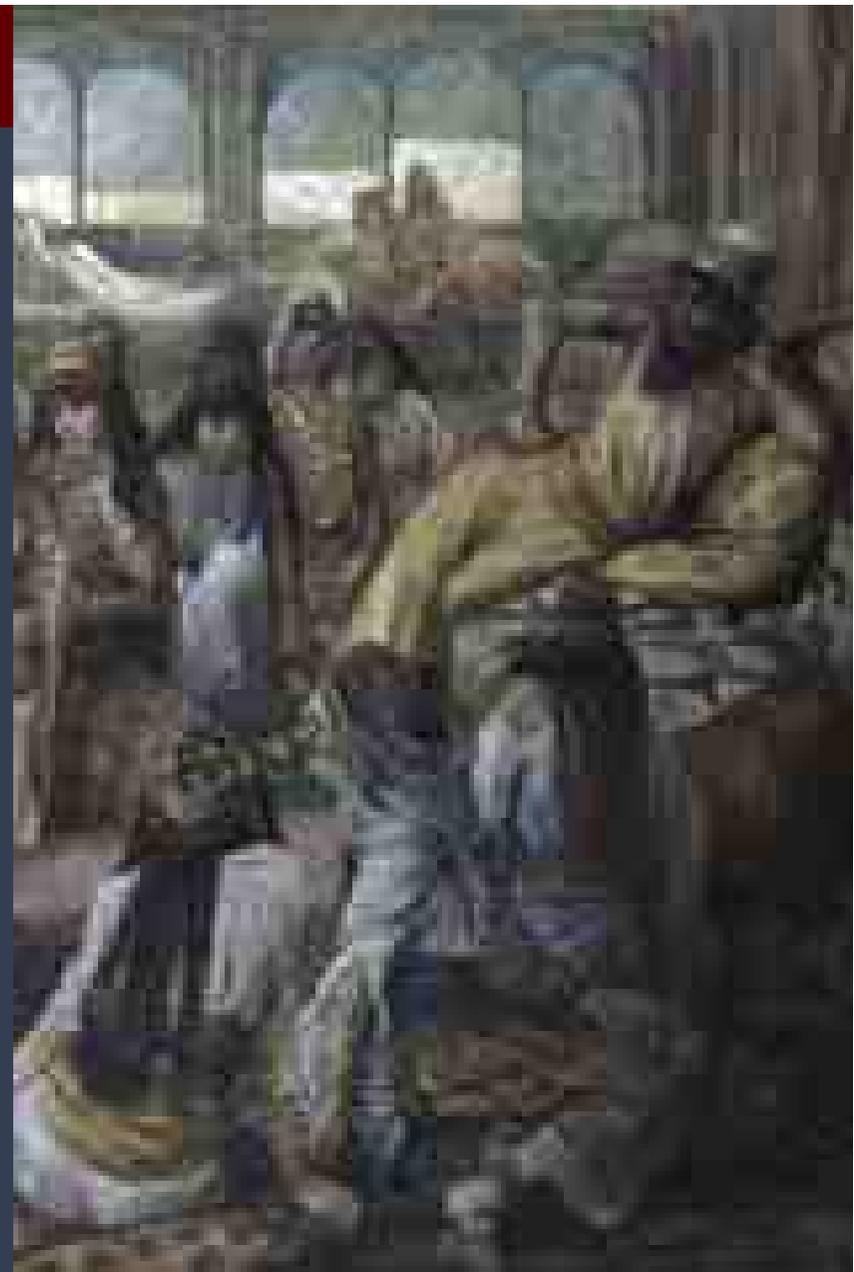
エルサレム神殿 ソロモンの罪

ダビデの子、ソロモン王が、
エルサレムの都に**神殿**を建てた。
神殿に**神の栄光**が臨在された。

ソロモンは、王国の繁栄と平和のため、
外国人の女性を何百人も妻とした。

しかし、この妻たちが持ち込んだ、
たくさんの**偶像**が、イスラエルで
あがめられるようになってしまった。

ソロモン王の死後、王国は南北に分裂、
罪を重ね、滅びにひた走っていった。



預言者たちによるメシア預言①

イスラエルに、わずかに残った信仰者に、神は、**預言者**を通して希望を示された。
(※預言者 = 預言(神の言葉)を取り次ぐ者)

■ 預言者イザヤの預言 イザヤ書7:1

「それゆえ、主は自ら、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ、**処女**が身ごもっている。そして男の子を産み、その名を**インマヌエル**(神が共におられる)と呼ぶ。」

メシアは、処女から誕生する



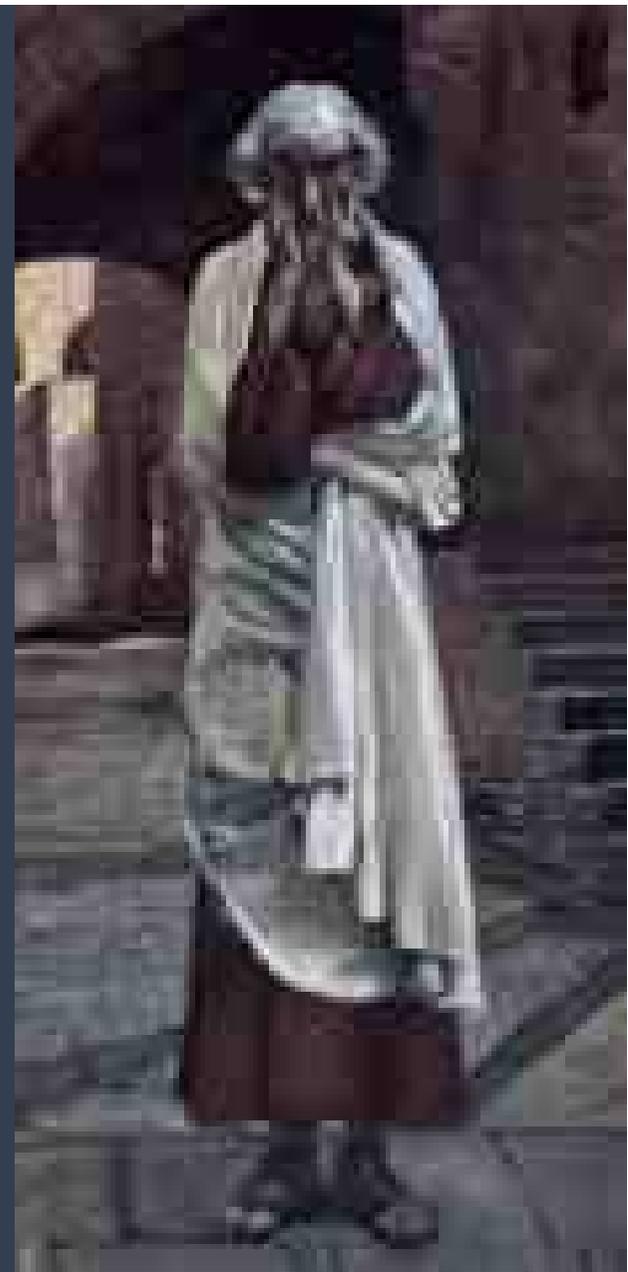
預言者たちによるメシア預言②

神は、イスラエルに厳しい裁きを告げながら、はるかな将来の希望をも示された。

■ 預言者ミカの預言 ミカ書5:2

「**ベツレヘム**・エフラテよ、あなたはユダの氏族の中で、あまりにも小さい。だが、あなたからわたしのためにイスラエルを治める者が出る。その出現は昔から、永遠の昔から定まっている。」

メシアは、**ベツレヘム**で誕生する



預言者エレミヤに約束された「新しい契約」

■ エレミヤ書31:31~33

見よ、その時代が来る—主のことば—。そのとき、わたしはイスラエルの家およびユダの家と、**新しい契約**を結ぶ。

その契約は、わたしが彼らの先祖の手を取って、エジプトの地から導き出した日に、彼らと結んだ契約(=律法)のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破った

—主のことば—。これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである—主のことば—。わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの**心にこれを書き記す**。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

将来、律法に代わる「**新しい契約**」が結ばれる!!

王国の分裂 滅び

度重なる神からの警告と懲らしめにも関わらず、イスラエルは、偶像礼拝に浸り、神への罪と背きを重ねていった。

ついに、神の怒りがイスラエルに下り、神殿から神の**栄光**が去った。

イスラエルは、敵に滅ぼされ、エルサレムの都も神殿も破壊された。



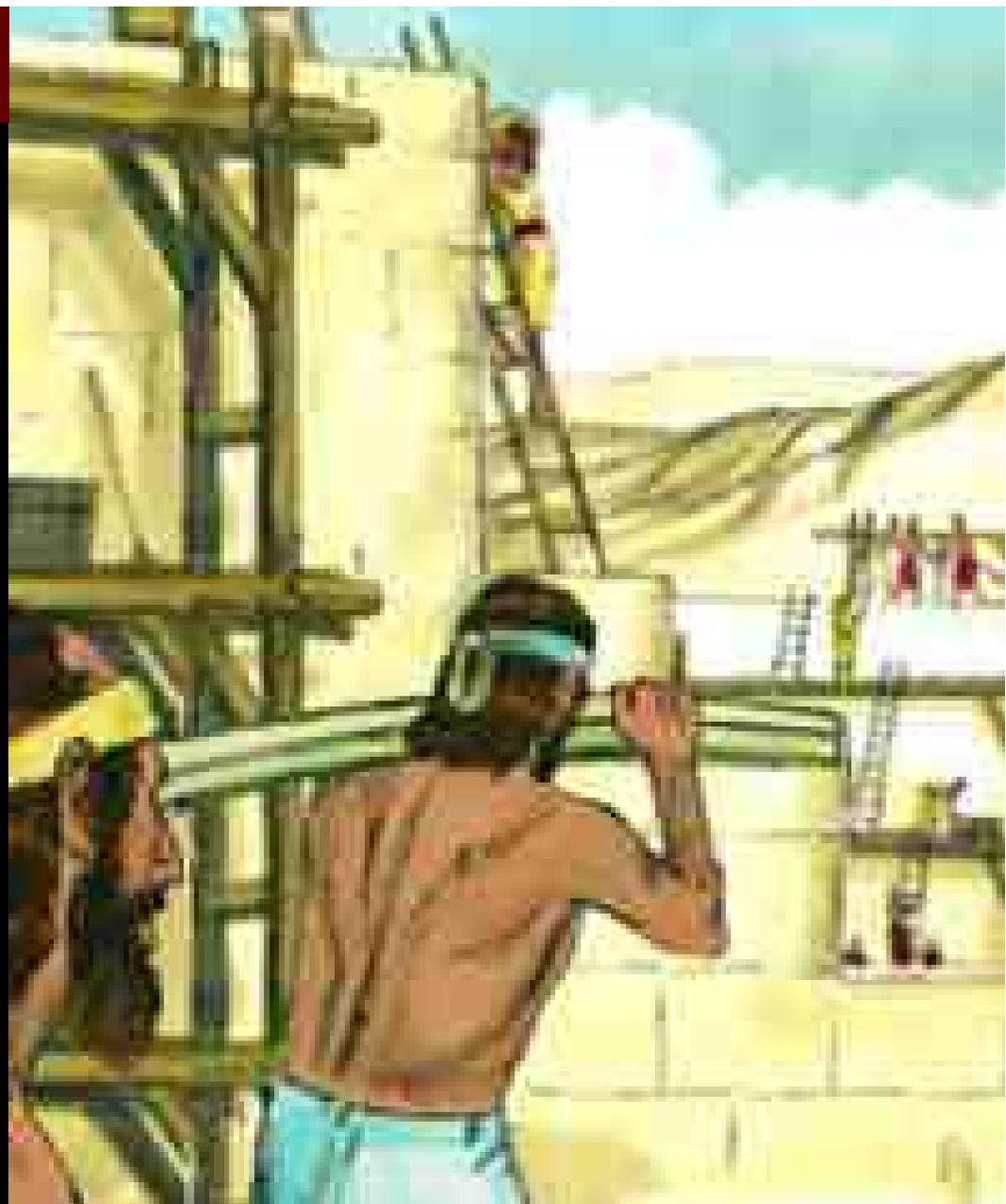
バビロン捕囚
(BC586)

捕囚からの帰還 神殿再建

70年後、イスラエルは捕囚から解放された。人々は少しずつエルサレムに帰還し、神殿を再建した。

しかし、再建された神殿に、**神の栄光**はなかった。

大国に蹂躪され続ける苦難の中、**メシア**の約束だけが、イスラエルの希望だった。





III. メシアの生涯

メシアの誕生

2千年前、ついにメシアが誕生された。
イスラエルのユダ族のダビデの子孫に、
処女マリアから、ベツレヘムで。
すべて**預言の通り**だった。

■マタイ福音書1:22~23

このすべての出来事は、主が預言者を通して語られたことが成就するためであった。

「見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。イザヤ書7:1」



神の約束通り
メシアは誕生!!

メシアの活動

イエスは、一人の人として成長された。

30歳頃から、メシアとしての活動を、ガリラヤで開始。

重い病気や障害を癒し、数々の奇跡を行い、聖書を正しく解き明かして、ご自身がメシアである証拠を人々に見せられた。

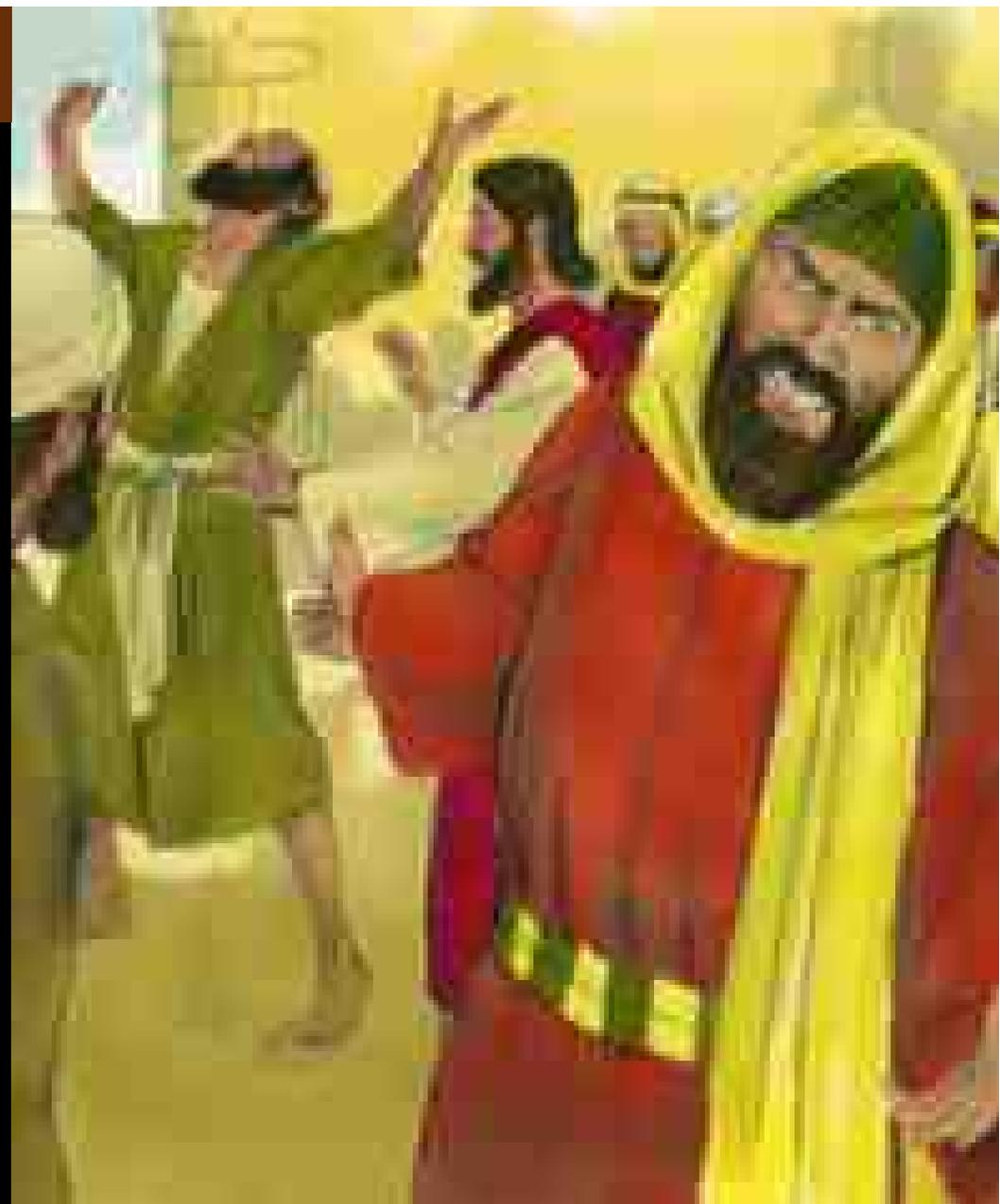


メシアは、神にしかできない奇跡を示された

イスラエルによる拒絶

メシアであることの、数々の確かな証拠にも関わらず、イスラエルの宗教指導者たちは、イエスは悪霊の力で奇跡を行っていると言って拒んだ。

彼らはイエスを殺すことを決め、機会をうかがっていた。



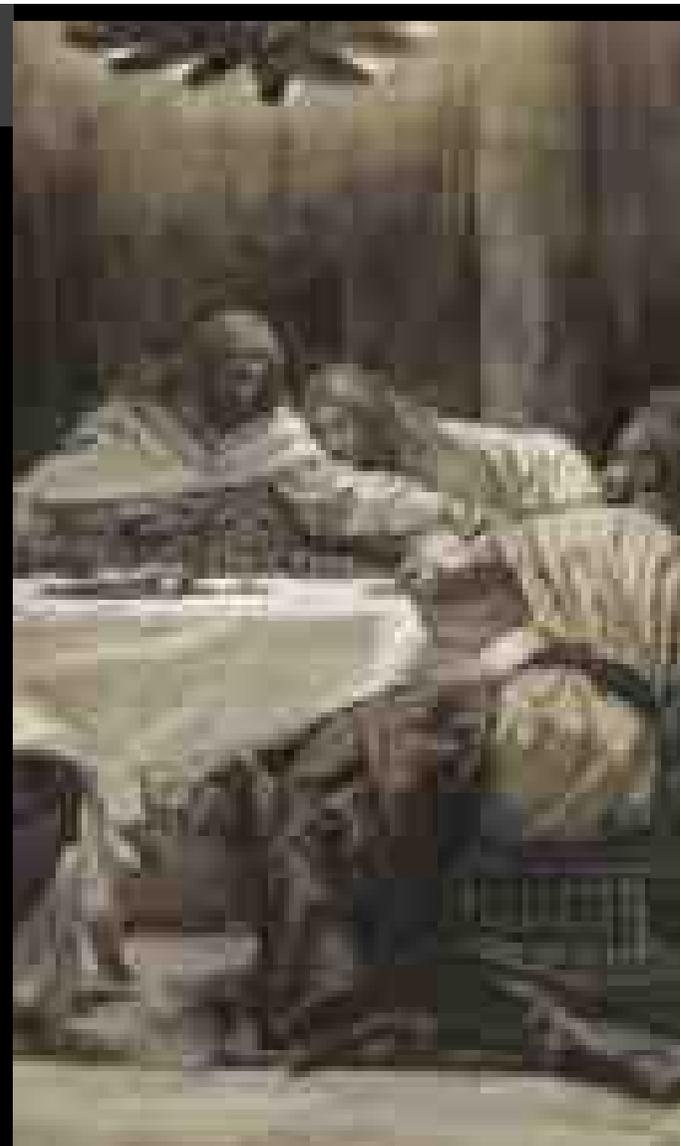
最後の晩餐

■ イスラエルのエジプトからの解放を祝う、最大の祭り、**過越祭**。その食事の席で、イエスは、ご自身こそ、罪からの真実の解放をもたらすメシアであると宣言された。

■ ルカ福音書22:19~20

「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。」

「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による、**新しい契約**です。」



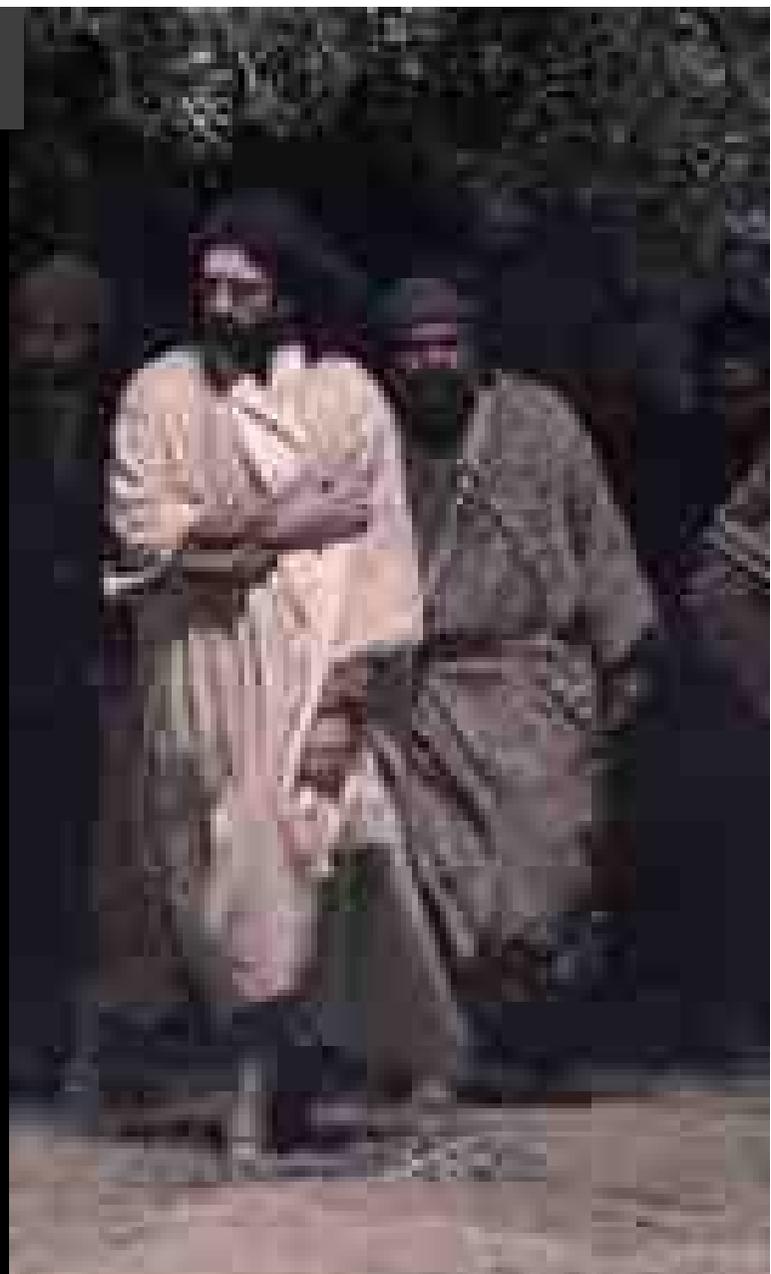
メシアを信じる者は、**新しい契約**によって救われる!!

メシアの覚悟

捕らえられる直前。イエスは、
命がけで最後の祈りをされた。

「父よ。みこころならば、
この杯をわたしから取りのけてください。
しかし、わたしの願いではなく、
みこころのとおりにしてください。」

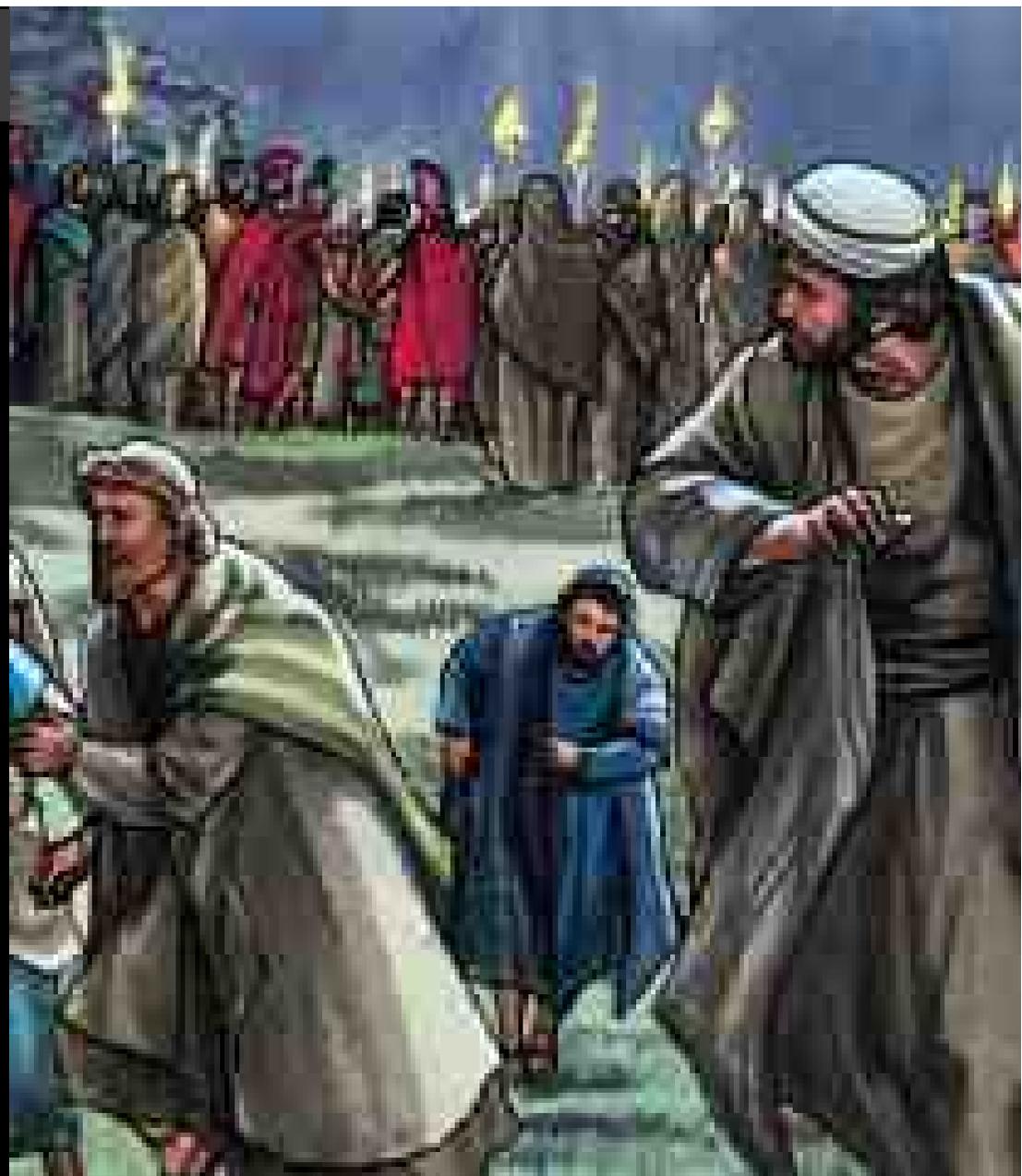
➡ 私たち罪人に注がれる**神の怒りの杯**を
身代わりに飲み干し、犠牲となる決意



メシアの捕縛

イエスは、弟子のユダの裏切りによって捕らえられた。

他の弟子たちは逃げ出した。



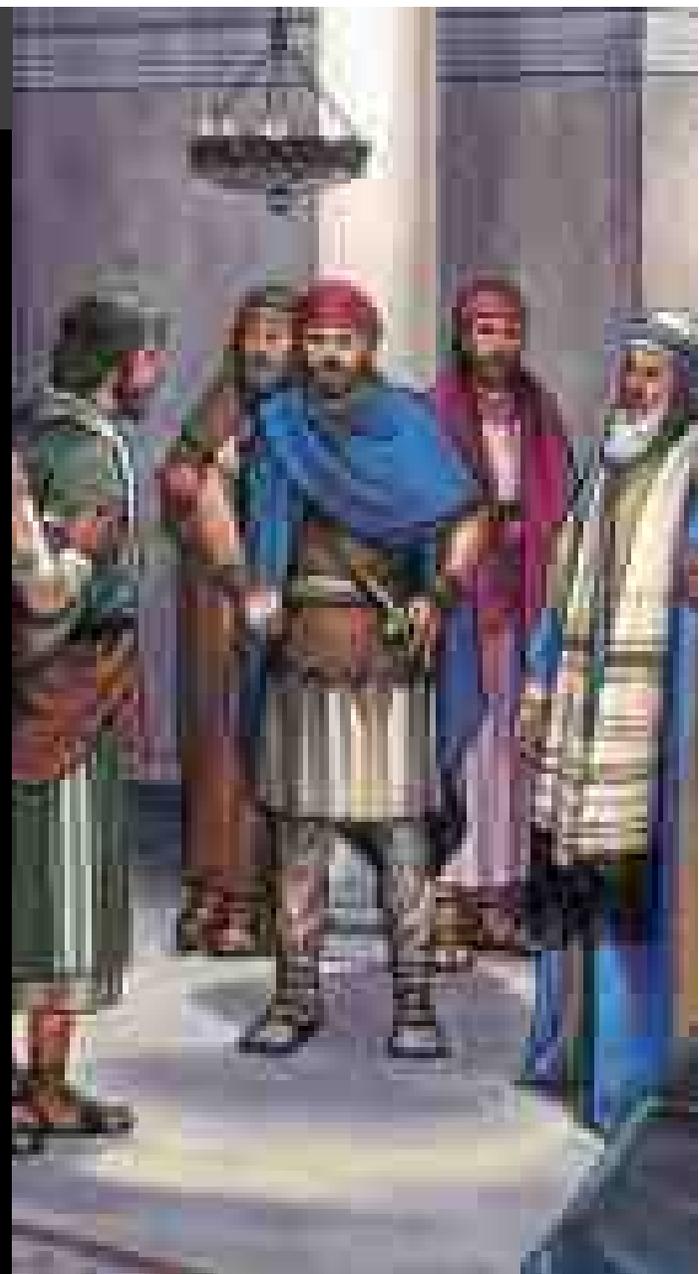
イスラエルによる違法な裁判

■ユダヤ議会の裁判、主イエスは宣言された。

「なお、あなたがたに言うておきますが、今からのち、人の子が、力ある方の右の座に着き、**天の雲**に乗って来るのを、あなたがたは見ることになります。」

→イエスは、**天の雲**に乗り、**神の栄光**を帯びて、神として再び来られる!!

■イエスの言葉に、議長である大祭司は激怒し、神に対する冒瀆だとして、死罪を求めた。

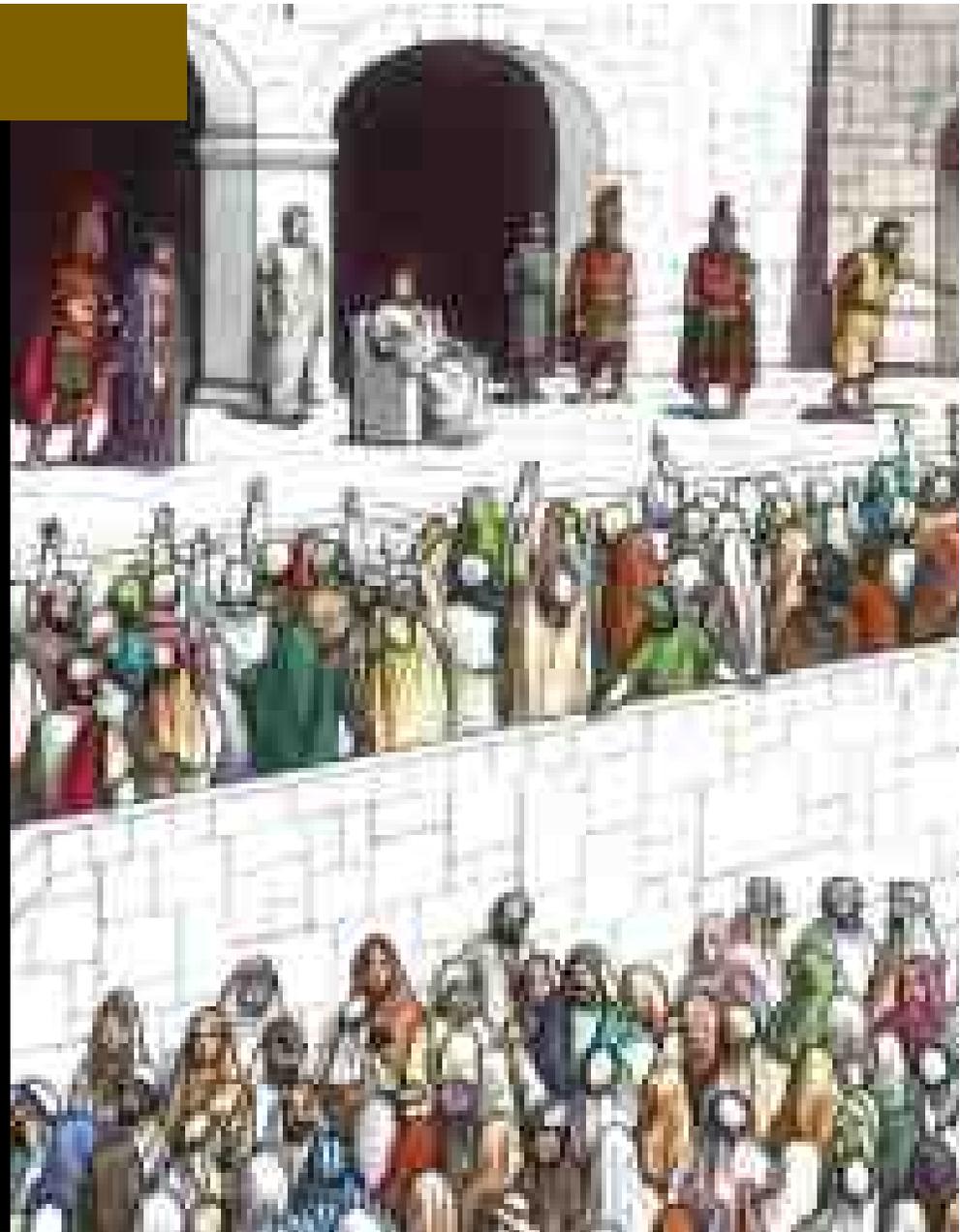


メシアの誕生

支配者ローマに、死刑執行の権利を剥奪されていたユダヤ議会は、イエスをローマ総督ピラトに引き渡した。

群集は、「十字架にかけろ!!」と叫び総督に圧力をかけ続けた。

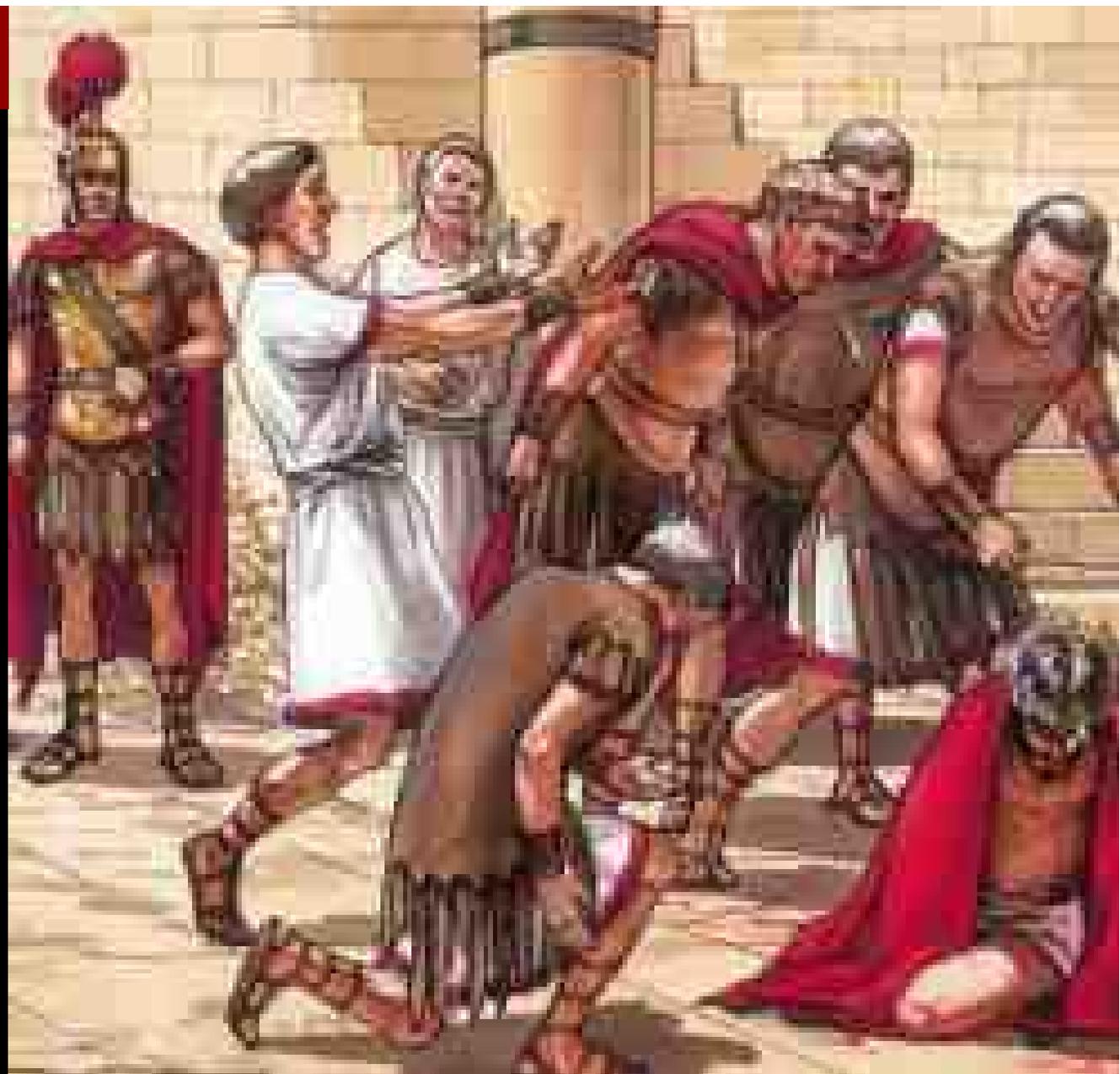
保身をはかった総督ピラトは、イエスに何の罪もないにも関わらず、十字架刑を宣告した。



メシアの十字架への道

イエスはむち打たれ、
茨の冠をかぶせられ、
人々のあざけりの内に、
十字架へと
追い立てられた。

ローマの十字架刑は、
反逆者を見せしめにし、
とことん苦しめて殺す、
残虐な刑だった。

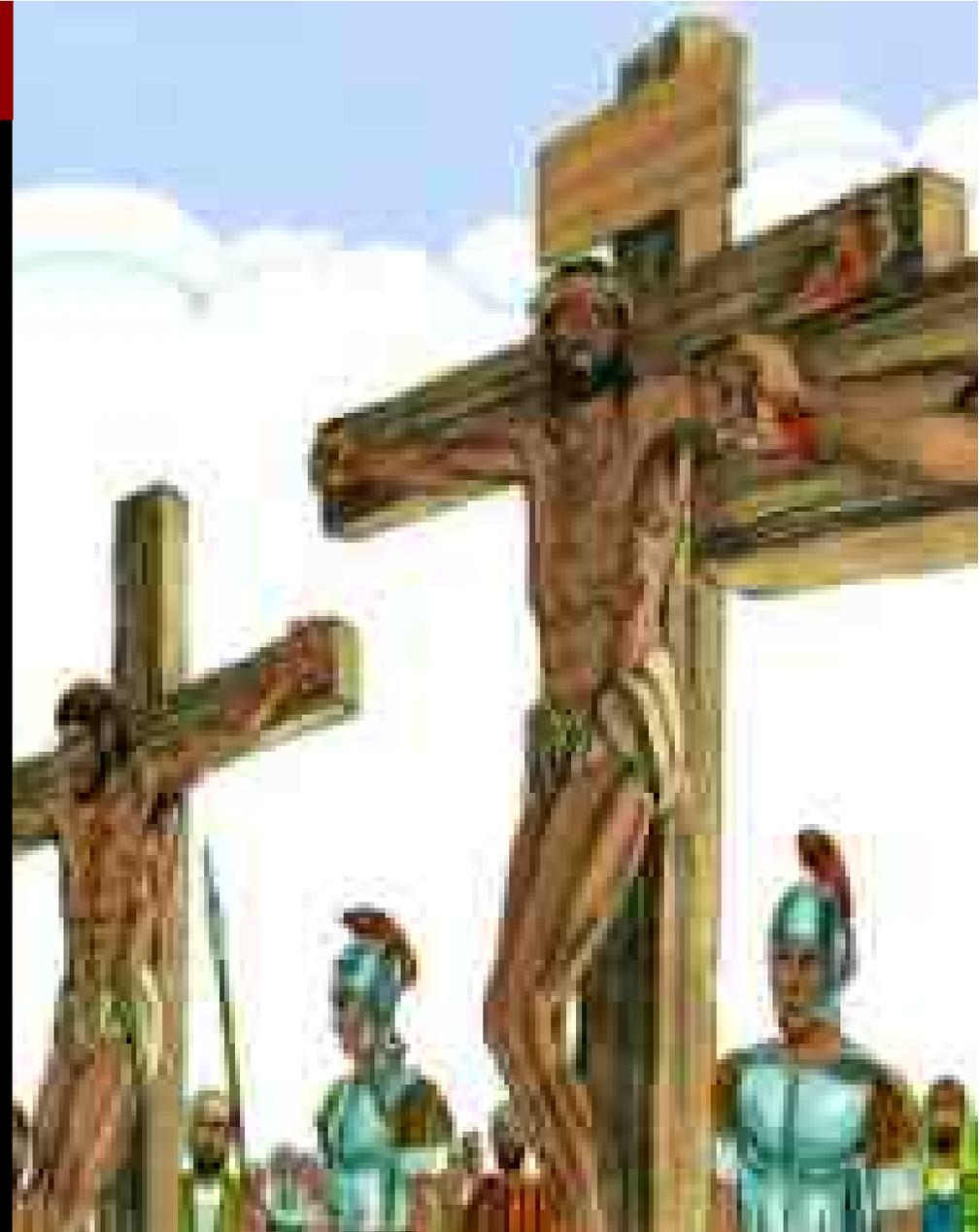


十字架でのメシアの叫び

骸骨を意味する“ゴルゴダ”で
イエスは十字架にかけられた。

あざけりの中で、イエスは叫んだ。

「父よ。彼らをお赦してください。
彼らは、何をしているのか
自分でわからないのです。」



囚人の救い

■隣で十字架につけられていた囚人は言った。
「イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるとときには、私を思い出してください。」

■イエスは、彼に言われた。
「まことに、あなたに告げます。あなたは
きょう、わたしとともに**パラダイス**にいます。」

■囚人は、イエスを**メシア**・救い主と信じ、
ただ、信仰と神の恵みによって救われた。

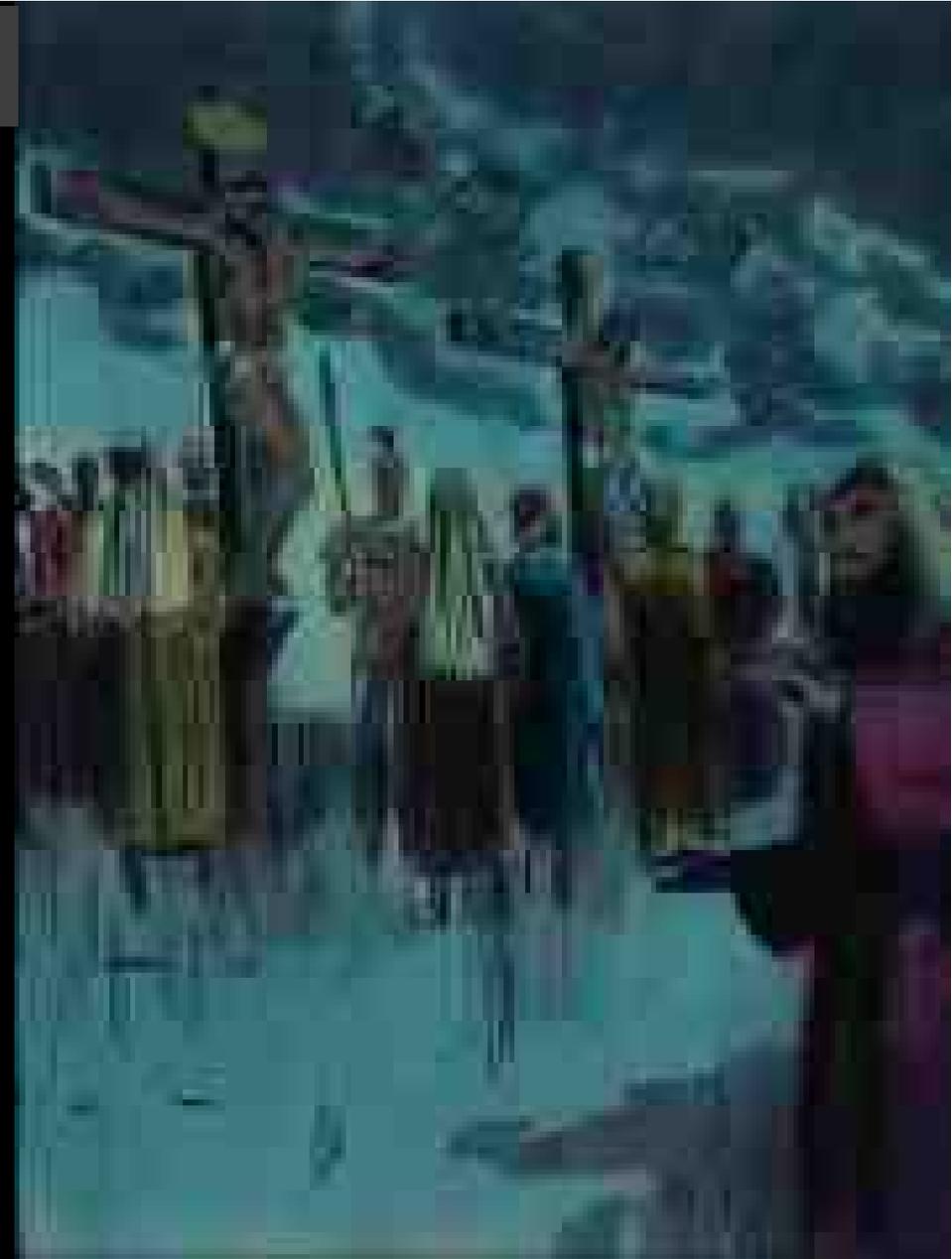


メシアの栄光の喪失

正午から3時まで、地を**暗黒**が覆った。
この時、イエスは神と**断絶**され、
その身に神の怒りが注がれていた。

イエスは、**神の栄光**を完全に失った。

暗闇は、イスラエルの民が、光である
イエスを拒んだことをも表していた。



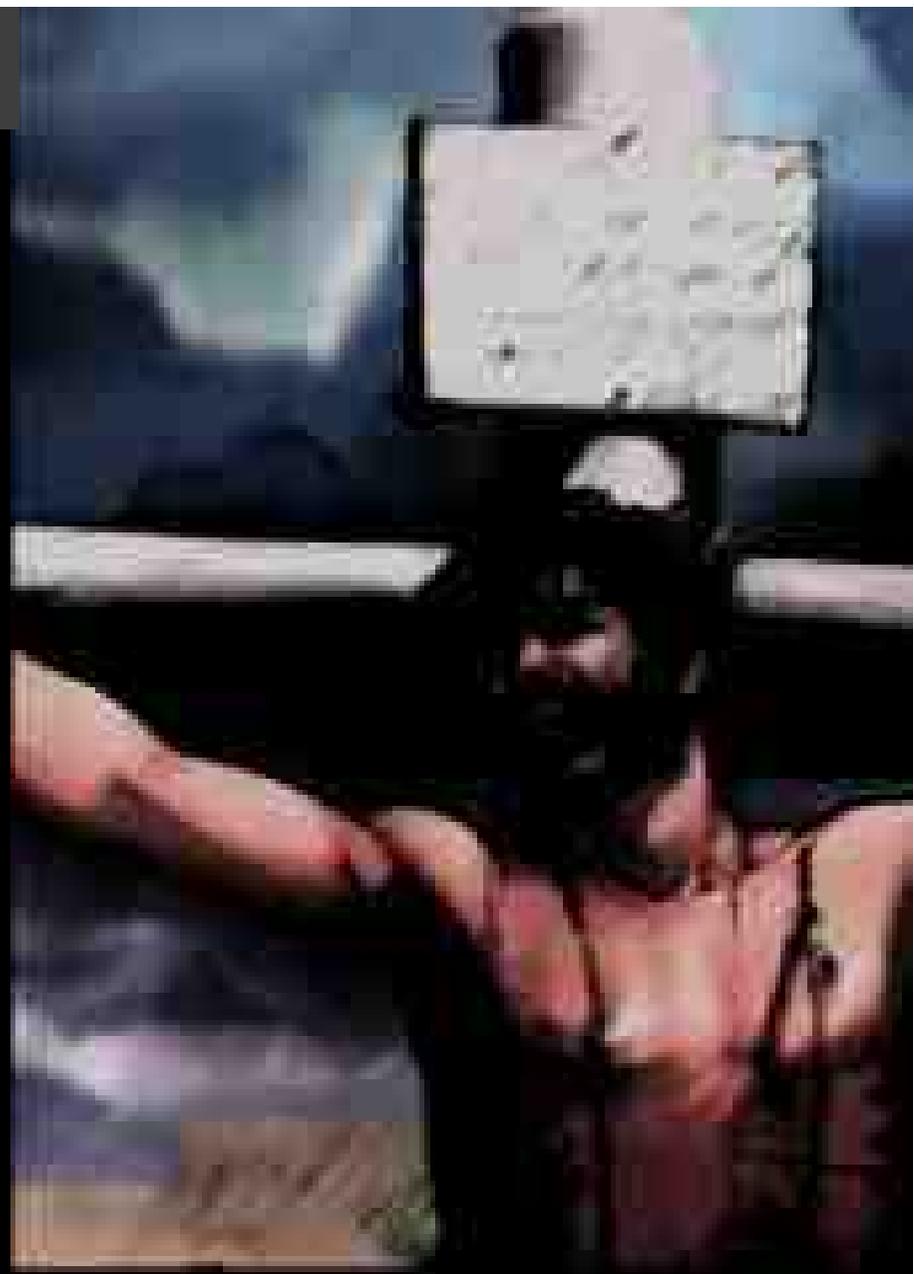
父なる神から断絶されたメシア

午後3時ごろ、イエスは、叫ばれた。

「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか」

イエスは、**神の怒りの杯**を飲み干され、神を父と呼ぶ親密な関係は断絶された。

イエスは、神に完全に見捨てられた。



完遂されたメシアの御業

イエスは、渇きを訴え、酸いぶどう酒を飲まれ、「完了した」と言われた。

■ 人類の罪の負債は、完全に支払われた。

最後、イエスは、大声で叫ばれた。

「父よ。わが霊を御手にゆだねます。」

■ イエスと父なる神との関係は回復され、イエスは、自ら命を神に引き渡された。



破られた隔て

神殿の奥の至聖所を隔てる幕が、
上から下に、引き裂かれた。

イエスの十字架の死によって、
アダムの子以来、神と人とを隔て
ていた壁が打ち砕かれた。

神の栄光を妨げるものはない。
今や、誰もが、キリストによって、
神に近づくことができる。

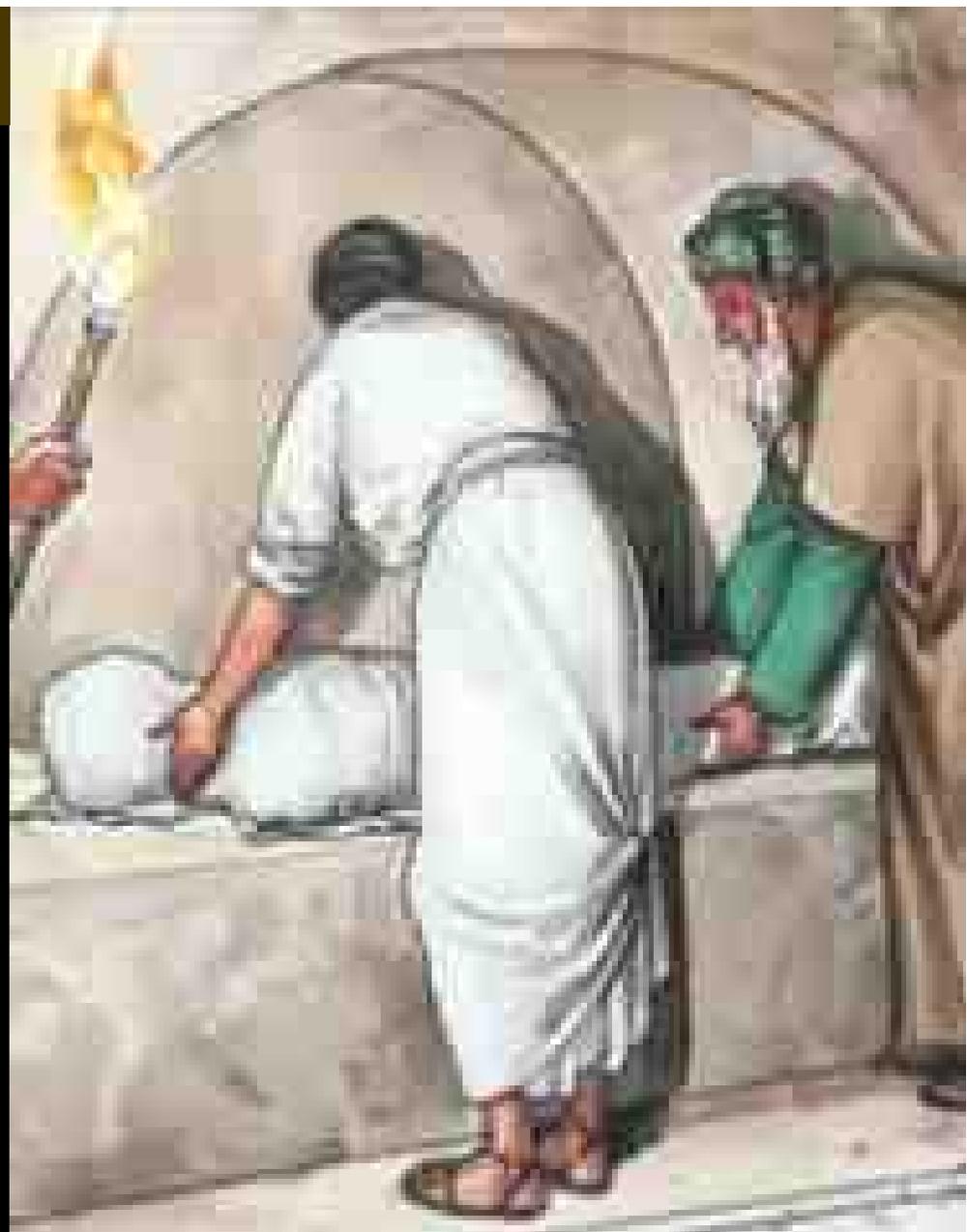


メシアの葬り

罪のないイエスは、
罪人の私たちと同じように、
死んで、墓に葬られた。

葬りは、
メシアが受けた**辱めの極地**。

イエスの十字架、葬り、すべてが、
旧約聖書に預言された通りだった。



空っぽの墓

三日目の朝、女たちが訪れた墓は開いていた。

御使いが現れ、恐れる女たちに言った。

「あの方は、ここにはおられません。
復活されたのです」

墓の中は、空っぽで、イエスを巻いていた布だけが、残されていた。



メシアの復活

女たちの前に、一人の人が現れ、
「シャローム(平安あれ)」と、
呼びかけられた。

栄光の体で**復活**したイエスだった。

「恐れてはいけません。
行って、わたしの兄弟たちに、
ガリラヤに行くように言いなさい。
そこでわたしに会えるのです。」



メシアとの和解の食卓

この後、
栄光の復活のイエスは、
弟子たちに現れ、
さらに、ガリラヤで会われた。

一度は、イエスを見捨て、逃げ出した弟子たちは、イエスに招かれ、
和解の食事を共にした。





IV. 教会時代

メシアの昇天

復活した栄光のイエスは、
40日間、最後の教えを
弟子たち伝えられ、
天に昇っていかれた。



昇天前のイエス最後の命令

使徒の働き 1章8節

「しかし、**聖霊**があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。

そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地のはてにまで、わたしの証人となります。」



聖霊降臨

十日後、イスラエルの三大祭の一つ、
ペンテコステの祭りの日、
祈っていた弟子たちに**聖霊**が降った。

弟子たちは、知らないはずの外国の
言葉を話し始め、世界中から集って
いた巡礼者たちは、驚いた。



教会の誕生

弟子たちに力がみなぎり、ペテロが立ち上がって語り始めた。

「あなたがたが十字架で殺したイエスが、メシアなのです。」
聖霊が語らせたのだ。

この日、3千人が主イエスを信じ、**教会**が誕生した。
教会とは、イエスを信じた者の群れ。



迫害の中でも

イエスをメシアと信じる人々に、
激しい迫害が起こった。

命がけで弟子たちが伝えたのは、
たった一つの救いの道・福音。

「主イエス・キリストは、
わたしたちの罪のために、
十字架で死んで、葬られ
復活された。」



人は誰でも
福音を信じて救われる



V. たった一つの救いの道

今も続くイスラエルの苦難

メシアを拒んだイスラエルは、AD70年、ローマによって滅ばされ、世界中に散らされていった。

2千年後の1948年、全世界のユダヤ人の1/3が虐殺されたホロコーストを経て、イスラエルが建国された。

テロも戦争も止むことなく、イスラエルの苦しみは、今も続いている



ティトゥス凱旋門のレリーフ

イスラエルの回心の時

聖書が預言するのは、イスラエルの国は復興するが、メシアを拒んだまままだということ。それが今の状態。

世の終わり、神の最後の裁きが、イスラエルに下る。
サタンの化身である反キリストの大迫害により、民族殲滅の危機に。

この時、イスラエルは民族的に悔い改めて、イエスをメシアを信じる。



世界の回復

メシア、主イエスは、世界の王として**再臨**し、すべての悪を裁かれる。

メシアによって造り替えられた世界に、イエスを信じたすべての人が招き入れられる。

神の国の栄光の体と、永遠の命を与えられて。

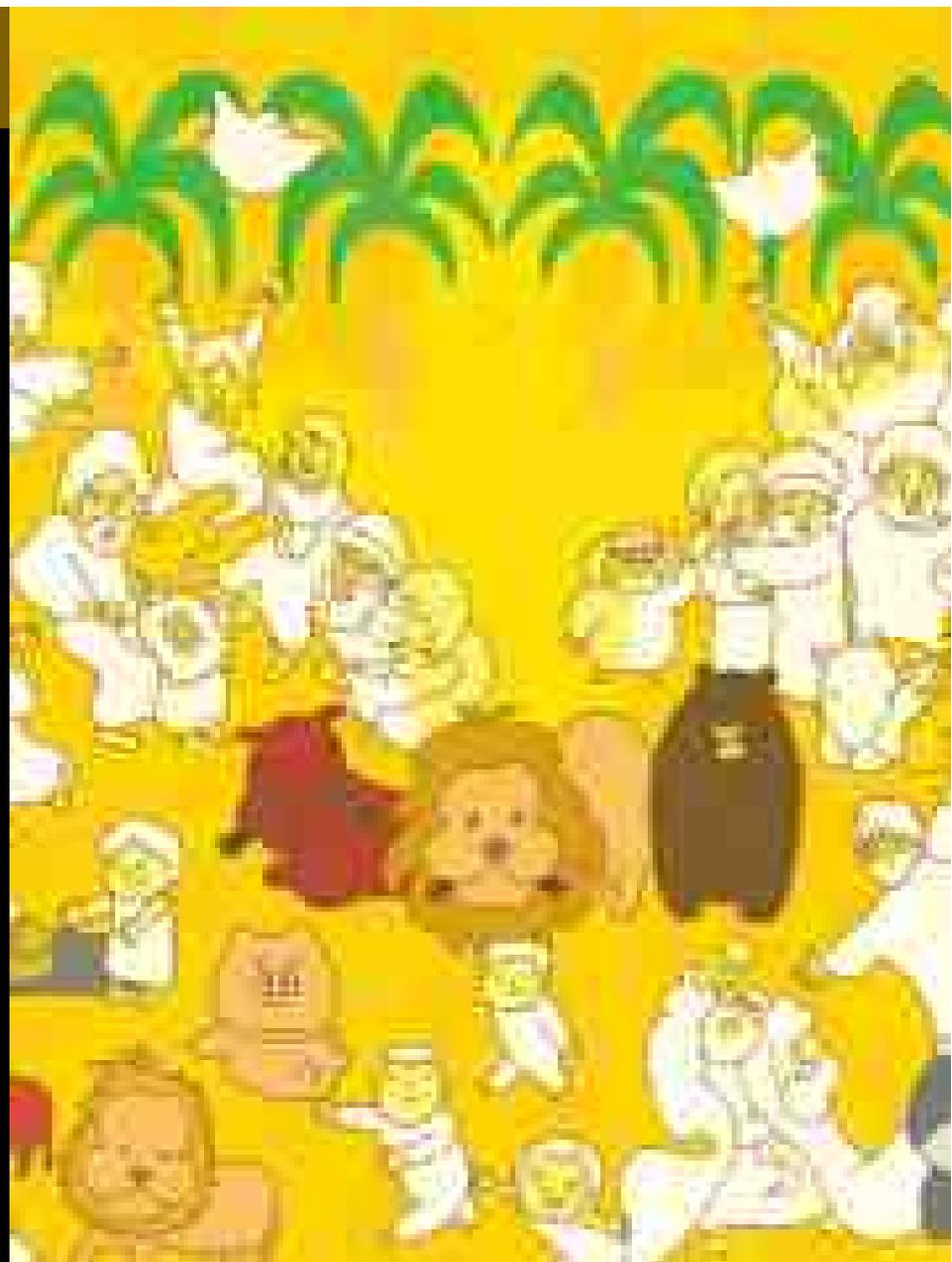


新しい天と地

イエスが約束されたのは、福音を信じた者は、大患難時代の災厄を免れるということ。

ある瞬間、福音を信じたすべての者は、天のイエスの元に挙げられる。

間もなく、世界は、大患難に突入。
福音を信じたすべての者は、天の栄光の体を与えられて、メシアが造り替えられた新しい世界に永遠に住む。

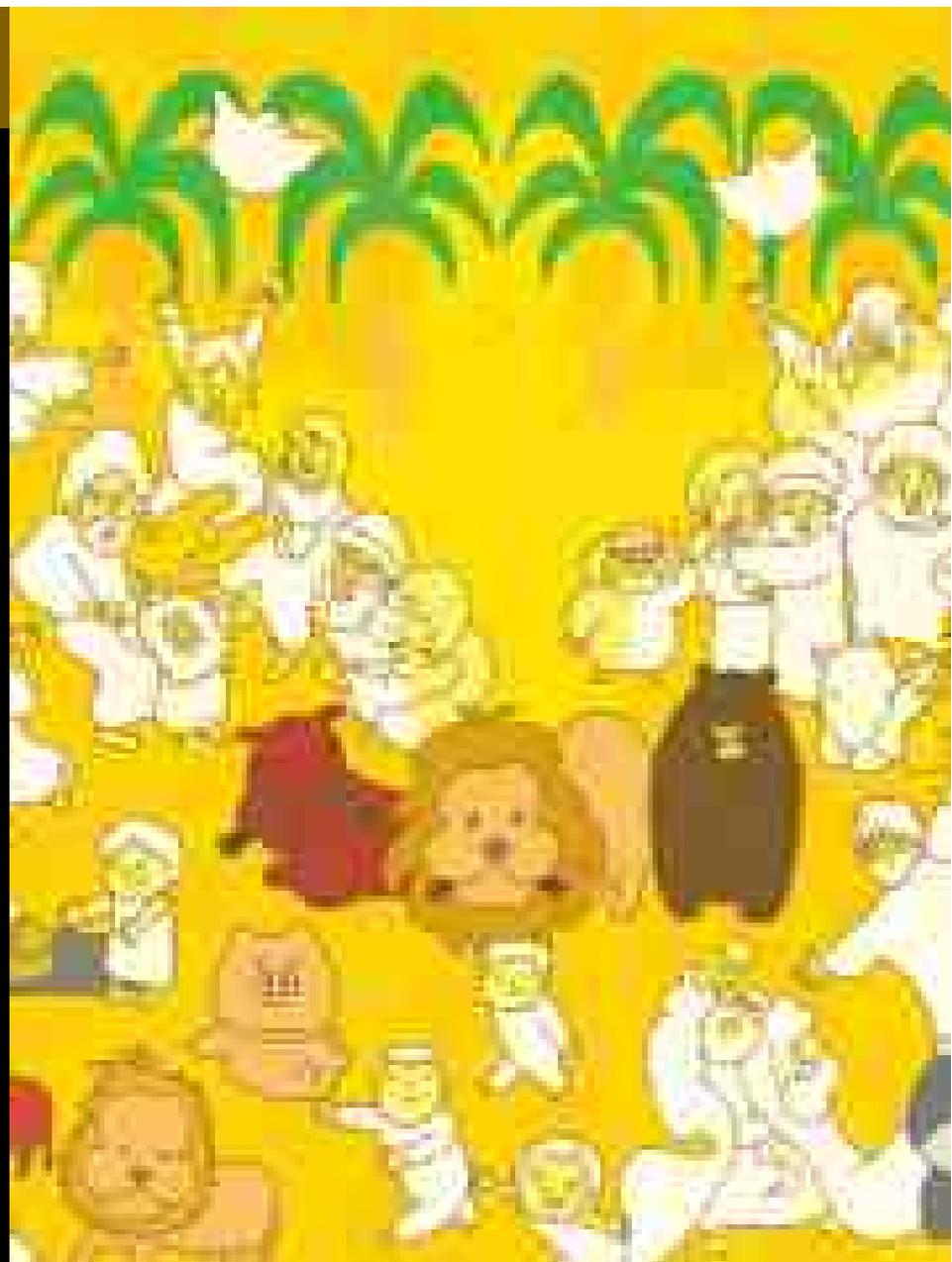


新しい天と地

■黙示録21:3～4

「見よ、神の幕屋が人々とともにある。神は人々とともに住み、人々は神の民となる。神ご自身が彼らの神として、ともにおられる。

神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、悲しみも、叫び声も、苦しみもない。以前のものが過ぎ去ったからである。」。



★ 聖書に記された神の約束 ★

- 聖書が壮大な作り話だったら、こんなにヤバイ話はない。これが真実なら、ヤバイではすまない。
- 何千年もの歴史の中で、何十人もの人が記したのが、聖書。不思議な一致があり、背後に何千、何万の目撃証人がいる。
- メシアである主イエス・キリストは、神が約束された通り、私、あなたの罪のため、十字架で死なれ、葬られ、復活された。約束された通り、世を裁き、世界の王となるため再び来られる。

「私がどのようなことばで福音を伝えたか、あなたがたが
しっかり覚えているなら、この**福音**によって救われます。
私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も
受けたことであって、次のことです。

キリストは、聖書に書いてあるとおりに、
私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、
また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられた
こと、コリント人への手紙第一15:2~4」

主が約束された**福音**だけが、永遠の滅びからの救いの道

てん とう わたし そむ つみ かせ
「天のお父さま。私は、あなたに背き、罪を重ねてきました。

ひび おか つみ こくはく わたし つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。私の罪をゆるしてください。

しん しん つづ わたし あた
あなたを信じ、信じ続ける力を私に与えてください。

かみ こ しゅ
わたしは、神のみ子、主イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

② 墓に葬られ、

③ 三日目に復活したこと、を信じます。

わたし しゅ あたら けいやく むす かみ いか すく
私は、主イエスの新しい契約に結ばれて、神の怒りから救われました。

しょうらい やくそく しゅ しんらい へいあん え
将来の約束をも、主に信頼して、平安を得ることができますように。

よろこ かんしゃ ふくいん かが ひび つか
喜びと感謝をもって、福音を掲げつつ、日々遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」